

☆佐渡米生産者大会を開催！！☆

3月3日に、「平成30年度 佐渡米生産者大会」が開催され、JA役職員・米生産者ら約350人が参加しました。この大会は「多様化する需要に応じた米づくりを実践し、佐渡米のシェア拡大を目指そう」「佐渡米未来プロジェクト活動を軸に全支店で1等米比率90%以上を達成しよう」「佐渡米憲章を確認し、消費者に愛される米づくりの実践しよう」のスローガンをもとに行われました。

大会の後半では高品質な佐渡米を生産した集落や生産者への表彰を行いました。また、29年産米で高品質米づくりを牽引した佐渡米未来プロジェクト品質向上90の品質向上サポーターには感謝状が贈呈されました。大会終了後、参加者には他産地で生産されているお米を使用したおにぎり（JA北魚沼産コシヒカリ、JA新すながわ産ゆめぴりか、JA山形おきたま産つや姫）が配布され、参加者は他産地のお米の食味を確認していました。



J A佐渡 齊藤会長より感謝状が手渡されている様子

☆子牛が産まれました！！☆

3月7日に、JA佐渡の大型和牛繁殖支援施設（CBS）で第1号となる子牛が産まれました（子牛の画像は右側の写真）。この施設では佐渡牛の増頭と佐渡米の土作りに欠かせない堆肥供給源を担う施設として昨年より稼働を開始しました。

この施設に取り組むことで、和牛農家、酪農家、耕種農家が安全な佐渡産飼料の提供を通じて連携し、佐渡和牛と酪農の振興、収入の向上に繋がります。3月28日現在、この施設では5頭の子牛が産まれています。産まれた子牛は、島内で年3回（4月・7月・11月）開催される家畜市場で、競りにかけられることとなります。



☆新しい生乳プラントが完成☆

3月10日に、佐渡乳業の新しい生乳プラントが完成し、「生乳プラント 竣工オープンセレモニー」が行われました。新しく出来た施設では、年間の取扱量を2千トンに引き上げ、島内で生産される生乳をより多く取り扱えるようになりました。

4月1日より、新商品として「農場カマンベール雪の花みそ漬ーたまり味噌（商品は右側の画像）」をはじめ、業務用の生クリーム等が販売されます。今回、新たな商品が増えたことで、佐渡産の乳製品がより多くの方にご賞味いただけることになりました。



☆佐渡加茂湖カキ祭り開催！☆

3月11日に、両津おんでこドームで加茂湖カキまつりが開催されました。会場では「朱鷺と暮らす郷」米を使用したカキご飯やカキ汁などが提供され、来場者は冬の味覚“カキ”を堪能していました。



JA 佐渡の公式 Facebook「佐渡のたんぼにつき」

で佐渡の情報が見られます。

<https://www.facebook.com/jasadotanbo>

JA 佐渡 HP ヤフェイスブック・ツイッター・g+でも佐渡の情報が見られます



編集人：佐渡農業協同組合
営農事業部米穀販売課 山田・藤巻

beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成30年3月